

シラバス

指定番号

商号又は名称：株式会社グリーンマリン

| 科目番号・科目名 | (1) 職務の理解 | | | |
|--------------------|---|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標 | ①介護職として働く現場や仕事の内容を、出来る限り具体的に理解できるようにする。 ②今後の学習内容を効率・効果的に学習できるような素地の形成を促すようにする。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 多様なサービスの理解 | 2 h | 2 h | 0 h | 〈講義・演習内容〉 ・講師による講義により介護保険サービス〈施設・居宅〉、介護保険外サービスの具体的内容を、「やさしい介護保険」のパンフレットを使用し学ぶ |
| ② 介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 4 h | 4 h | 0 h | 〈講義・演習内容〉 ・講師による居宅・施設の仕事内容の説明。 視聴覚教材により、具体的なサービス提供現場のイメージをつける。また、申請からサービスの開始に至るまでの一連の業務の流れと、他職種、インフォーマルサービスを含めた地域の社会資源との連携についての説明 |
| (合計時間数) | 6 h | 6 h | 0 h | |

| | |
|------------|---|
| 使用する機器・備品等 | 株式会社「日本医療企画」発行 DVD教材4巻 やさしい介護保険冊子 |
|------------|---|

| 科目番号・科目名 | (2) 介護における尊厳の保持・自立支援 | | | |
|--------------|---|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標 | ①介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚する。 ②自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①人権と尊厳を支える介護 | 3.5 h | 1 h | 2.5 h | 〈通信学習課題の内容〉 ・人権と尊厳の保持 ・QOLの考え方 ・ノーマライゼーション 〈講義・演習内容〉 ・教科書を使用した講義 ・事例に対してグループでディスカッションを行う。 ・虐待防止・身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要 |
| ②自立に向けた介護 | 3.5 h | 1 h | 2.5 h | 〈通信学習課題の内容〉 ・自立支援 ・介護予防 〈講義・演習内容〉 ・教科書を使用した講義 ・事例に対してグループでディスカッションを行う。 |
| ③人権啓発に係る基礎知識 | 2 h | 2 h | | 〈講義・演習内容〉 大阪府府民文化人権室発行の「ゆまにてなにわ」を使用し生命の尊さや、自尊感情を育てることを学ぶ ・人権について ・人権への取り組み |

| | | | | |
|---------|-----|-----|-----|--|
| (合計時間数) | 9 h | 4 h | 5 h | |
|---------|-----|-----|-----|--|

| | |
|------------|------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | 介護職員基礎研修課程テキスト1 介護・福祉サービスの理解 |
|------------|------------------------------|

| 科目番号・科目名 | (3) 介護の基本 | | | |
|------------------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策の重要性を理解する。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①介護職の役割、専門性と他職種との連携 | 1 h | 0.5 h | 0.5 h | 〈通信学習課題の内容〉 ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護に関わる職種 〈講義・演習内容〉 ・教科書、事例をとおして、多職種間によるチームケアの関わり方、効果についてグループディスカッションを行う。 |
| ②介護職の職業倫理 | 1 h | 0.5 h | 0.5 h | 〈通信学習課題の内容〉 ・職業倫理 〈講義・演習内容〉 ・介護福祉士の倫理綱領やプライバシーの尊重・秘密保持について学ぶ |
| ③介護における安全の確保とリスクマネジメント | 2 h | 1 h | 1 h | (通信学習課題の内容) ・介護労働における安全の確保 ・事故予防 ・安全対策 ・感染対策 〈講義・演習内容〉 ・リスクマネジメントと介護事故後の対応方法について学ぶ |
| ④介護職の安全 | 2 h | 1 h | 1 h | 〈通信学習課題の内容〉 ・介護職員のこころの健康管理 ・介護職員のからだの健康管理 〈講義・演習内容〉 ・教科書・レジュメを使用し、安全衛生を守るための予防対策についてグループでディスカッションをする。 |
| (合計時間数) | 6 h | 3 h | 3 h | |

| | |
|------------|------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | 介護職員基礎研修課程テキスト1 介護・福祉サービスの理解 |
|------------|------------------------------|

| | | | | |
|---------------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 科目番号・科目名 | (4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | | | |
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度・障がい者総合支援制度を担う一員として、介護保険制度の理念に対する近いができる。 ・サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務、その他制度のサービスの位置づけや代表的なサービスの理解ができる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①介護保険制度 | 3 h | 0.5h | 2.5h | (通信学習課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景と目的 ・介護保険制度の動向 ・介護保険制度のしくみ① ・介護保険制度のしくみ② ・介護サービスの分類と種類 ・主な介護サービスの内容とサービス事業者・施設 ・保険給付以外の事業 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・レジュメとやさしい介護保険を使用しての講義 |
| ②医療との連携とリハビリテーション | 3 h | 0.5h | 2.5h | (通信学習課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・介護における医療と福祉の連携 ・介護職と医行為 ・リハビリテーション (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員が出来る医療行為の範囲についてグループでディスカッションを行う。 |
| ③障がい者総合支援制度およびその他制度 | 3 h | 0.5h | 2.5h | (通信学習課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支制度の背景 ・障害者自立支援制度の基本的な構造 ・障害者自立支援制度のしくみと運営の現状 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やレジュメを使用し、「生活保護法」や「成年後見制度」についての講義 |
| (合計時間数) | 9 h | 1.5 h | 7.5 h | |

| | |
|------------|--|
| 使用する機器・備品等 | 「やさしい介護保険」冊子 介護職員基礎研修課程テキスト1 介護・福祉サービスの理解 |
|------------|--|

| | | | | |
|----------------------|--|-------------------|-------------------|---|
| 科目番号・科目名 | (5) 介護におけるコミュニケーション技術 | | | |
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の心理や利用者との人間関係を著しく傷つけるコミュニケーションとその理由について考え、相手の心身機能に合わせた配慮が出来る。 ・チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①介護におけるコミュニケーション | 3 h | 1.5h | 1.5h | (通信学習課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法 ・道具を用いたコミュニケーション ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションについてグループディスカッションを行う。 |
| ②介護におけるチームのコミュニケーション | 3 h | 1.5h | 1.5h | (通信学習課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・記録による情報の共有化 ・介護サービスにおける報告、連絡、相談 ・コミュニケーションを促す環境 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・事例をもとに個別援助計画書の作成をグループでディスカッションにて行う。 |
| (合計時間数) | 6 h | 3 h | 3 h | |

| | |
|------------|---|
| 使用する機器・備品等 | 介護職員初任者研修課程テキスト2 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解 |
|------------|---|

| | | | | |
|---------------------|--------------------------------------|-------------------|-------------------|---|
| 科目番号・科目名 | (6) 老化の理解 | | | |
| 指導目標 | ・高齢者に多い心身の変化、疾病の症状等にたいして、対応できるようになる、 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 | 3 h | 1.5h | 1.5h | (通信学習課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴うこころとからだの変化 ・老化に伴うこころとからだの変化と日常生活 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴う症状の観察ポイントについて講義を行う。 |
| ②高齢者と健康 | 3 h | 1.5h | 1.5h | (通信学習課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と健康 ・高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴う症状の観察ポイント、把握、対処方法などについて講義を行う。 |
| (合計時間数) | 6 h | 3 h | 3 h | |

| | |
|------------|---|
| 使用する機器・備品等 | 介護職員初任者研修課程テキスト2 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解 |
|------------|---|

| | | | | |
|-----------------------|--|-------------------|-------------------|---|
| 科目番号・科目名 | (7) 認知症の理解 | | | |
| 指導目標 | 介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の心理・行動を実感できるように促す。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①認知症を取り巻く状況 | 2 h | 1 h | 1 h | (通信学習課題の内容) ・認知症ケアの理念 (講義・演習内容) ・利用者本人の「感情面」や「思い」残された意欲や能力に着目した講義を行う。 |
| ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 | 1 h | 0.5h | 0.5h | (通信学習課題の内容) ・認知症の概念 ・認知症による障害 ・健康管理 (講義・演習内容) ・認知症に用いられる評価法を学んだり、障害の状態や原因となる疾患などの医学的な理解についての講義 |
| ③認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 | 2 h | 1 h | 1 h | (通信学習課題の内容) ・中核症状 ・周辺症状 ・認知症の利用者への対応 (講義・演習内容) ・事例を用いて、認知症の人との接し方やコミュニケーションについてグループでディスカッションを行う。 |
| ④家族への支援 | 1 h | 0.5 h | 0.5 h | (通信学習課題の内容) ・家族の支援 (講義・演習内容) ・家族の心理状態を理解したエンパワメントやレスパイトケアについてグループディスカッションを行う。 |
| (合計時間数) | 6 h | 3 h | 3 h | |

| | |
|------------|---|
| 使用する機器・備品等 | 介護職員初任者研修課程テキスト2 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解 |
|------------|---|

| | | | | |
|--|---|-------------------|-------------------|---|
| 科目番号・科目名 | (8) 障がいの理解 | | | |
| 指導目標 | ①介護における障害の概念とICFについて理解を促す。 ②高齢者の介護との違いを念頭に置きながら、それぞれの障害の特性と介護上の留意点に対する理解を促す。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①障害の基礎的理解 | 1 h | 0.5 h | 0.5h | (通信学習課題の内容) ・障害の概念 ・ICFの考え方 ・障害者福祉の基本理念 (講義・演習内容) ・障がい者を支える制度の仕組みや法律についての講義を行う。 |
| ②障害の医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 | 1 h | 0.5 h | 0.5h | (通信学習課題の内容) ・視覚障害 ・聴覚・平衡機能障害 ・音声・言語・咀嚼機能障害 ・肢体不自由 ・内部障害 ・障害の受容 ・知的障害 ・精神障害 ・高次脳機能障害 ・発達障害 (講義・演習内容) ・視覚障害や内部障害、精神障害などの各疾患や症状、介護における留意点についての講義を行う。 |
| ③家族の心理、かかわり支援の理解 | 1 h | 0.5 h | 0.5 h | (通信学習課題の内容) ・家族の心理 ・家族への支援 (講義・演習内容) ・家族の心理や障害の受容、支援にあたっての留意点についてなど、事例検討を用いたグループディスカッションを行う。 |
| (合計時間数) | 3 h | 1.5 h | 1.5 h | |

| | |
|------------|---|
| 使用する機器・備品等 | 介護職員初任者研修課程テキスト2 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解 |
|------------|---|

| 科目番号・科目名 | (9) こころとからだのしくみと生活支援技術 | | | |
|---------------------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | ①介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法などを理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①介護の基本的な考え方 | 3 h | 2 h | 1 h | (通信学習課題の内容) ・理論と法的根拠に基づく介護 (講義・演習内容) ・医療サービスと介護サービスの役割の違いについて、グループでディスカッションする。 |
| ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 | 3.5 h | 3 h | 0.5 h | (通信学習課題の内容) ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 (講義・演習内容) ・幸福感や生きがいを感じる事故の概念、さらには老化や障害の受容、適応について理解するためにグループでディスカッションを行う。 |
| ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 3.5 h | 3 h | 0.5 h | (通信学習課題の内容) ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨・関節・筋に関する基礎知識 ・中枢神経系と末梢神経系に関する基礎知識 ・自立神経と内部器官に関する基礎知識 ・こころとからだを一体的にとらえる (講義・演習内容) ・人体の構造やその動きについて理解することで、さまざまな面から利用者を一体的にとらえる力を養うように講義する |
| ④生活と家事 | 3 h | 2 h | 1 h | (通信学習課題の内容) ・家事と生活の理解 ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援 (講義・演習内容) ・家事援助内容(調理・掃除・洗濯・買物)などの確認、ご利用者への気配りなどをグループでディスカッションを行う |
| ⑤快適な居住環境整備と介護 | 3 h | 2 | 1 h | (通信学習課題の内容) ・快適な居住環境に関する基礎知識 ・高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 (講義・演習内容) ・事例などを用いて、家庭内で安全に過ごす術や、事故を予防するための留意点などをグループでディスカッションする |
| ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 9 h | 8 h | 1 h | (通信学習課題の内容) ・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術 (講義・演習内容) ・衣服を選ぶときの配慮事項と着脱の準備の留意点についてグループディスカッションを行う。 ・衣服の着脱介助の方法について演習を行う。 |
| ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 9 h | 8 h | 1 h | (通信学習課題の内容) ・移動・移乗に関する基礎知識 ・さまざまな移乗・移動に関する用具とその活用方法 ・介護職員にとって負担の少ない移動・移乗の支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援 (講義・演習内容) ・移動以上について安全・安楽な介助を行うためのボディメカニクス、人体の構造や基本肢位の理解、具体的な介護技術を学ぶ。 |
| ⑧食事に関連したこころと | 5 h | 4 h | 1 h | (通信添削課題の内容) |

| | | | | |
|-----------------------------------|------|------|------|--|
| らだのしくみと自立に向けた介護 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識 ・食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ ・楽しい食事を阻害するところとからだの要因の利香と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関連した福祉用具の活用方法や介護技術、また食事と姿勢、咀嚼・嚥下のメカニズム、口腔ケアの定義や誤嚥性肺炎の予防を学ぶ |
| ⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 9 h | 8 h | 1 h | (通信添削課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に関する基礎知識 ・さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法 ・さまざまな入浴・清潔を保つための方法 ・楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・羞恥心や遠慮への配慮、体調の確認などの支援方法を学ぶ ・全身浴、全身清拭や手浴、足浴、洗髪、陰部洗浄などの支援方法を学ぶ ・入浴、清潔保持に関する基礎知識を学ぶ |
| ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 9 h | 8 h | 1 h | (通信添削課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・羞恥心やプライバシーの確保や、排泄介助時の具体的な方法、便秘の予防(水分摂取や食事内容の工夫など)を学ぶ |
| ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 3 h | 2 h | 1 h | (通信添削課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・安眠の為の介護の工夫や環境の整備 ・安楽な姿勢・褥瘡予防の方法を学ぶ |
| ⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 | 3 h | 2 h | 1 h | (通信添削課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識 ・「死」に向き合う心の理解 ・苦痛の少ない死への支援 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・在宅ターミナルケアに必要な要件についてグループディスカッションを行う。 |
| ⑬介護課程の基礎的理解 | 4 h | 3 h | 1 h | (通信添削課題の内容) <ul style="list-style-type: none"> ・介護課程の展開 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> 介護課程の意義や目的など、介護課程の基本的な視点や姿勢についてグループディスカッションを行う。 |
| ⑭総合生活支援技術演習 | 8 h | 8 h | 0 h | (通信添削課題内容) <ul style="list-style-type: none"> ・総合生活支援技術の演習 (講義・演習内容) <ul style="list-style-type: none"> ・生活場面、障がい状況などの異なる事例を通し、今後の支援の方向性について検討し、利用者の心身の状態に合わせた介護を提供できるようにグループディスカッションを行う。 |
| (合計時間数) | 75 h | 63 h | 12 h | |

| | |
|------------|---|
| 使用する機器・備品等 | 介護職員初任者研修課程テキスト3 こころとからだのしくみと生活支援技術 車椅子、介護用ベッド、浴槽、テーブル、いす、シャワーチェア、ベッドシーツ、食器、ビニール、フェイスタオル、沐浴剤、バスタオル、パジャマ上下、トレーナー上下、浴衣、自助具、ストロー、フォーク、スプーン、お箸、ビニール、エプロン、防水布、とろみ剤、ポータブルトイレ、差し込み便器、尿器、オムツ、パット、リハビリパンツ、おむつカバー、歩行器、杖、白杖、手すり、洗面器、ドライヤー、シャンプー、洗面器、リンス、バスボード、ブラシ、石鹸、保湿クリーム、爪切、バケツ、歯ブラシ、コップ、電気カミソリ、マットレス、枕、枕カバー、防水シーツ、アイマスク、包帯、ガーゼ、消毒、クッション、トイレトペーパー、綿棒、口腔洗浄器、ゴム手袋、桶、ボット、トイレトペーパー、陰部洗浄器 |
|------------|---|

| | | | | |
|-------------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 科目番号・科目名 | (10) 振り返り | | | |
| 指導目標 | 研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①振り返り | 3 h | 3 h | 0 h | <ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点（利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等） ・視聴覚教材（DVD）を鑑賞後、介護を実際に行っている映像から、介護の気づきのポイントについてグループディスカッションを行う。 |
| ②就業への備えと研修終了後における継続的な研修 | 1 h | 1 h | 0 h | <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶべきこと ・研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例（OFF-JT, OJT）を紹介 |
| (合計時間数) | 4 h | 4 h | 0 h | |

| | |
|------------|---|
| 使用する機器・備品等 | 介護職員初任者研修課程テキスト3 こころとからだのしくみと生活支援技術 視聴覚教材（DVD）、デッキ、テレビ |
|------------|---|